



順造選便り

お伝えしたいこといっぱい...の気持ちをこめて。

順造選ショップ

発行日:2015年12月号 vol.40

無料配信(郵送)をご希望の方は

0120-103-712

FAX.06-6443-2025

http://www.junzosen.com/

〒550-0003 大阪市西区京町堀1丁目15-5

十二月の お便り



私は過去を振り返ったり、執着したりしない人間です。成功しようが失敗しようが過去は過去、終わったことは終わったので、余り考えることもありません。

アメリカに会社を作り五十年、アメリカ各地に拠点を作ったり、店を持ったりやってきましたが、写真等一枚もありません。

創立何十周年記念などやったこともありませんし、そのような過去を振り返る催しなどには何の興味もないのです。それが良いのか悪いのかわかりませんが、私にとって興味があるのは、今と今から始まる未来です。

今を精一杯生き、未来を考えるのに時間がいくらあっても足りませんので、成功、失敗、後悔、思い出などの過去にひたることなどできないのです。今は山程あり、終わったことなど振り返って居りません。

成功した過去を振り返るなんて自己満足の世界だと思えますし、失敗後悔したことを想い起しても元氣は出てこない。失敗した時いろいろ考え十分反省したのですから、それで終わりです。そのような事を背負って今、現在生きているのですから、この今に全力投球です。年をとる暇などありません。このように生きていますが、皆さん如何ですか。

過去は振り切り、捨てましょうよ！楽しいことも、嫌なこともです。「今を大切に、今を楽しく」をもつて毎日を生きると世界が変わって見えてきますよ。

そしてもう一つ、高齢者の人は「十分長く生きてきたのですから、自由気ままに今を生きましょうよ」

おすすめの色



フレッド・ハーシュ、現代最高峰のジャズピアニストだそうです。私は今迄知らず、聴いたこともなかったのですが、偶然このCDにめぐり逢い、感動しています。重篤な病氣から奇跡の復活後のピアノソロコンサートを作品化したものだそうですが、その音には死線を越えた人が人生を振り返り、ふりかえりながら弾いたのではないかと思われるものがあるように感じます。心に沁みるというか、胸に迫ってくる音色だと思ふ。このような音が大好きです。



楽感 音雑



若い頃は音楽を聴くとか、ライブ会場に行くとかには全く興味なく、ただただ仕事一筋人間でした。ただただ仕事一筋人間でした。40才を過ぎた頃から、音楽に耳を傾ける必要を感じ始め今日に至っています。皆さんに毎月紹介していますCDも、私の好みで選んでいるのですが、選ぶ基本は左記のように努めています。

- 聴いて気持ち良くなる。
- できればその音楽を聴いていると元気がでてきそうな。
- なんとなくしみみりと余韻にひたれる。
- 余り難しそうなものは選ばない。

もう一つはクラシックの曲をいつも同じように弾き、演奏され細かな技能差、音色差にうんちくを傾けて聴いたり、その正確さを評価したりすることには余り興味はないのです。それではなく新しい音を出すことにチャレンジされているものに面白さを感じています。それはダメ！邪道だと言われる人も居るでしょう。私が私はいつも同じような音だけを聴いていると新鮮味を感じなくなり、タイクツになってきます。

良い音を聴いて「ワクワクしたい」「気持ちよく、フーツとなりたい」「二要素が出てきたらなあ」と思うのですが、どうでしょうか。そんなクラシックの聴き方はダメ！だと言われそうです。

順造さんの旅日記

日本の魅力再発見！ 瀬戸内の旅 ①

久しぶりの日本の旅！



海外旅行ばかりで久しく国内の旅をしないなあ？！と思いはじめると、まず地方を見なければと思ひ立ち、山陽道→しまなみ海道→松山→宇和島のコースで旅してきました。どの国も都会でなく地方を見ること、その国の立ち位置を確認できるというのが私の持論です。日本の旅は地方からなのです。

まず80才が自分の車を運転し見てもそれは私の経験では、その地のベストホテルを見るとその地方の活力というかがレバが判ります。

高速山陽道を通って3時間、尾道に着く。高速を降りて市内に入っていくと、駐車場を探すがどこも「満。では良いレストランなら駐車場もあるだろうとパソコンで調べ、2、3店行く。駐車場は一杯。

一体どうなっているのかと尋ねてみる。と、今日は全国仮装行列大会が催されているとのこと、車の浦に向かう。予想以上に狭い道で、えらい所に迷い込んだなあと思ひながら行く。SOFU CAFE店があり、嬉しくなつて入ったのが2時。



カフェの正式名は「境が浜マリーナ SOFU CAFE」。もう5時間、車を運転して。入ってビックリ！前はマリーナで中は予想外にキチンとした構え！何もない田舎道沿いにこんなレストランがあるとは！これは只者ではないぞ！と期待がふくらむ。瀬戸内海とマリーナを眺めながらメニューを開くと「サンマこれは珍しい！これは珍しい！出でくるのだ？と注文。出てきてびっくり！PASTAの上にサンマが丸ごとついているのです。頭から全部食べられますよとのことで食べます。美味い！これは珍品バスターだ！

ワインの話

私の失敗談

皆さん、ワインを飲んでおられますか？「良く判らんけど飲むでよ」と言われる人が多いのではないのでしょうか？20年前前ワインビジネスに参入したことから、ワインを仕事として飲み始めたのですが、ワインの良し悪しと値段が全く判らず、どうすればこの壁を突破できるのかが大問題でした。そこで考えに考えたすえにたどり着いたのが次のようなことです。

- ①自分が美味しい、良いなあと思うワインはどれも安いワインだ！
- ②反対に不味いと感じたものは高いのだ！

ということが解ったのですよ。これは大発見で、この感覚に従って、まずワインの味と価格を見ていこうと決めたのですが、これが当時ワインの味がよく解らない私にとってはよい判断基準になり、助かったことを思い出します。笑われるでしょうね！どんな時でも判断基準を作り、持たねばならない者は何か自分なりの基準を作らねばなりませんものね。あくまで一時的なことではありますが…。ワインが全く判らない人にはヒントになるかもしれません。笑われるか？叱られるか？



本便り

草思社文庫
ヴェルマ・ウオーリス
アラスカ・インディアンに語り継がれてきたシンプルで素朴な話です。酷寒のある冬、全滅の危機に直面した部族は年老いたふたりの老女を置き去りにして進む。年寄り如何か厄介者のように扱われ始めていた。このシンプルでストレートそして素材に胸をうつ物語はアメリカで多くの感動をよび、数々の図書賞を授与されています。身にしみるような物語です。



こんな田舎でこんな面白いPASTAを出すとは大したものだ！シラに脱帽！こんな便利の悪い所にマリーナがあり、ポトをつなぎ遊ぶ人はどこから来るのだろっ？

日本の地方も頑張るなあ！

さて、この後マリーナの上山に建つホテル「ベラビスタ」境が浜に向かう。何か面白そうな予感がする。

